

## 受講概要

**場所** TCU Shibuya PXU 渋谷区道玄坂1-10-7 五島育英会ビル8F



東急東横線・田園都市線、JR山手線・埼京線、東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線「渋谷駅」徒歩5分  
京王井の頭線「渋谷駅」徒歩2分

**定員** 25名※先着順 **受講料** 99,000円(税込) ※各種割引制度あり

**受講期間** 2026年6月 - 7月 **開講日** 6/4(木)・6/11(木)・6/13(土)(ワークショップ・交流会)  
6/18(木)・6/26(金)・7/2(木)・7/9(木)・7/16(木)

**受講時間** 70分授業 × 15コマ + 交流会 **受講形式** 対面授業

**修了条件** 15コマの授業のうち10コマ以上、対面で出席した方にオープンバッジを発行いたします。

**申込方法** 本学リカレントプログラム  
申込ページより  
お申し込みください。



**申込締切** 2026年5月21日(木)まで

## 受講検討者向け説明会

受講をご検討中の皆さまを対象に、説明会を開催いたします。  
参加をご希望の方は、Webサイトよりお申し込みください。  
<https://tcurecruitsustainable.peatix.com>



**開催日時** 4月23日(木) 18:00~19:00(予定)

**開催場所** TCU Shibuya PXU 渋谷区道玄坂1-10-7 五島育英会ビル8F

## 渋谷に未来を創る拠点「TCU Shibuya PXU」が誕生

渋谷に新たな拠点「TCU Shibuya PXU(東京都市大学渋谷ハクス)」を開設しました。現代社会の複雑な課題に対処し、持続可能な社会を実現するために必要なイノベーション人材の輩出を目的として、リカレントプログラムをはじめとするさまざまな活動を展開します。



### 学びから共創へ。渋谷PXUがつなぐ次のステージ。

渋谷PXUを基点に広がる多様なステークホルダーとのネットワークをさらに深化させ、大学と社会の交流・共創を一層推進するため、個人会員制度をスタートしました。会員の皆さまには、ビッグオーークの個人利用や定期交流会などを通じて、渋谷PXUならではの学びと交流の機会を提供いたします。新たなアイデアを創出する場として、ぜひご活用ください。リカレントプログラムを受講いただいた方は、所定の登録手続きを経て、個人会員としてご参加いただけます。



## 2026年 東京都市大学リカレントプログラム(予定)

リテラシーレベル

プロフェッショナルレベル

コース名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
サステナビリティ経営基礎コース			6月~7月						
Sustainable Urban Managementコース						9月~10月			
建設業事業承継DXコース						9月~12月			
DX推進人材育成コース							10月~11月		

※開講コースの内容や実施時期は変更となる可能性があります。内容が確定次第、ホームページにて順次お知らせいたします。

お問い合わせ先  
Webサイト

東京都市大学 渋谷PXU リカレントプログラム担当

recurrent@tcu.ac.jp

<https://shibuya-pxu.tcu.ac.jp>

詳しい内容は  
WEBサイトをご覧ください



2026.03

東京都市大学

TOKYO CITY UNIVERSITY

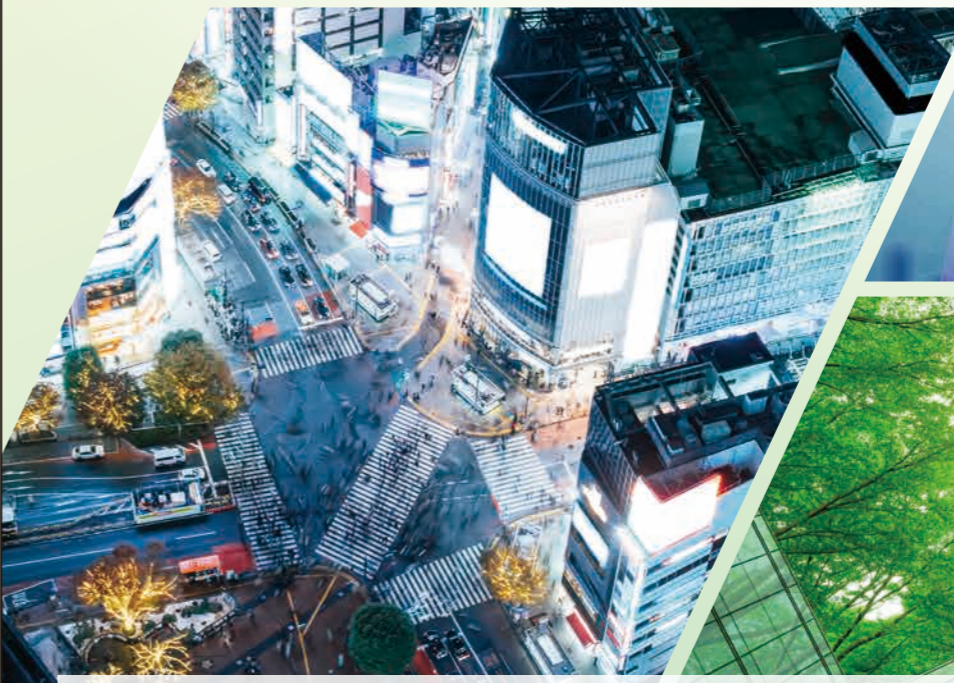
「カーボンフットプリント」「統合報告」…  
サステナビリティを“経営の共通言語”にし、  
明日から使える基礎力を身につける。



東京都市大学 リカレントプログラム

# サステナビリティ 経営基礎コース

社会人  
対象



東京都市大学リカレントプログラムでの学習歴は受講修了後にデジタル化され、学習を証明するための「オープンバッジ」として授与されます。キャリアを彩る証明書として活用することが可能です。

東京都市大学  
リカレントプログラム  
サステナビリティ  
経営基礎コース  
東京都市大学  
TOKYO CITY UNIVERSITY

# サステナビリティが“わかる” “使える”キャリアを渋谷から始める！

## サステナビリティ経営を体系的に理解する

環境(Environment)、社会(Social)、そして企業の姿勢や仕組み(Governance)。地球規模で持続可能性が問われるいま、企業がESG/SXに取り組むことは、単なるトレンドではなく経営の根幹になっています。一方で、SDGs、カーボンプレジット、統合報告など関連する概念や施策は広範で、断片的には知っていても、全体像をつかみにくいと感ずる方も少なくありません。

本コースでは、サステナビリティを「経営の共通言語」として整理し、業界・職種を問わず実務に接続できる基本リテラシーの獲得を目指します。ESG/SX、マテリアリティなどの主要概念を、座学・演習・グループワークを通じて整理し、全体像を“俯瞰”できるようにします。

専門知識がなくても参加でき、受講後はサステナビリティ関連テーマについて社内外の説明・質疑に適切に対応できる状態へと「わかる」から、自分の言葉として「使える」へと引き上げ、キャリアのブラッシュアップにもつながる汎用スキルの基礎が身につきます。



### ■ 想定する受講者像

- ▶ サステナビリティ、ESG/SXなどの断片的な知識を整理して、全体像から基礎を理解したい方
- ▶ 管理職あるいは中堅層として、事業や組織の意思決定に必要なサステナビリティ経営の視点を強化したい方
- ▶ 営業・調達・企画・管理などの立場で、取引先からの要請も見据え、算定・開示の基本を押さえておきたい方
- ▶ 今後、社内外でサステナビリティを説明する立場になることが見込まれる方
- ▶ 演習やグループワークを通じて、学んだ内容を「わかる」から自分の言葉として「使える」状態へ引き上げたい方
- ▶ サステナビリティに関わる多種多様な業界・職種との交流から、刺激を得て、キャリアの幅を広げたい方

### ■ 受講者が目指す目標と得られる価値

説明できる	サステナビリティの基本論点を整理し、社内外の会話で“共通言語”として使える
読み解ける	カーボンプットプリント(CFP)と統合報告の基礎構造を理解し、資料の読み解き・施策検討の入口に立てる
実務につなげる	自社の課題に照らして、次のサステナビリティ・アクションを具体化できる
全体像がつかめる	関連用語・施策が広がりやすい領域を、講座全体の「地図」として整理できる
学びが定着する	座学だけでなく、対話・演習を通じて得られた知識の理解が深まる
視野が広がる	経営・事業・社会課題をつなぐ観点に触れ、論点の捉え方が洗練される
キャリアが広がる	キャリアアップ/キャリアチェンジにもつながる汎用性の高いリテラシーの土台を得られる

- ### 受講サポート
- 専門知識は不要/基礎から体系的に習得可能な用語や基礎知識から丁寧に解説するため、これから学びを深めたい方でも段階的に理解を深められます。
  - 受講者・講師との実践的なネットワーク構築  
受講者同士のディスカッションや講師との交流機会を通じ、実務に活かせる人脈形成が可能です。

- ### 提供ツール(予定)
- ・カーボンプットプリント(CFP)演習シート
  - ・統合報告(サステナビリティ開示)演習シート
  - ・業界×サステナビリティ用語マップ
  - ・近未来サステナビリティ・ロードマップ(制度・ルール/テクノロジー等)
  - ・演習課題:「今すぐ自社でできる サステナビリティ・アクション」ほか

# SCHEDULE [ 講義スケジュール ]

70分授業×15コマ+交流会

1 限 18:00~19:10	2 限 19:30~20:40
<b>6/4 木</b> <b>総論①</b> サステナブル経営I 「概念と基礎フレームを知る」  東京都市大学 教育開発機構 特任教授 杉浦 正吾	<b>アイスブレイク</b>  参加者同士の関心や背景を共有し、学びたいことを言語化することで、サステナビリティと自身の仕事のつながりを整理し、講座への参加意識を高めます
<b>6/11 木</b> <b>総論②</b> サステナブル経営II 「関連用語の整理と共通言語化」  東京都市大学 教育開発機構 特任教授 杉浦 正吾	<b>総論③</b> 講座ナビゲーション 「受講目的・目標の設定」  東京都市大学 教育開発機構 特任教授 杉浦 正吾
<b>6/13 土</b> <b>1限 13:30~14:40</b> ワークショップ サステナビリティ経営における ライフサイクル思考 ーカーボンプットプリントの 計算演習  東京都市大学 環境学部 准教授 兵法 彩	<b>2限 15:00~16:10</b> ワークショップ サステナビリティ経営 ワークショップ ーサステナビリティ開示の 基礎演習  東京都市大学 特別教授 鶴田 靖人
<b>6/18 木</b> <b>GXから考えるDX</b> 製造業における環境影響 評価と新しい価値形成 ー環境影響評価の基礎としての LCA演習  東京都市大学 デザイン・データ科学部 教授 大久保 寛基	<b>GXから考えるDX</b> 製造業における環境影響 評価と新しい価値形成 ー製造業に必要とされる環境影響 評価の現状  東京都市大学 情報データ科学研究科 特任教授 中村 昌弘
<b>6/26 金</b> <b>データ駆動型の</b> <b>サステナ企業価値創造</b> ー規制対応だけではなく、 サステナ/非財務情報を 将来ストーリーと企業価値創造の 源泉とする  サステナブルラボ株式会社 代表取締役 一般社団法人サステナビリティ データ標準化機構 代表理事 平瀬 錬司	<b>長期投資家にとっての</b> <b>サステナブル投資</b> ーサステナブル投資の理論と 実践を学ぶ  京都先端科学大学 ビジネススクール 教授 加藤 康之
<b>7/2 木</b> <b>消費が変われば、</b> <b>経営が変わる</b> ーファッション産業の資源循環から 読み解くBtoC企業の構造転換  株式会社Crane&Lotus 代表/編集者 向 千鶴	<b>「社会課題を価値に変え、</b> <b>社会発展の力に変える」</b> <b>社会起業家の信念</b> ー「三方よし」を貫くクラダシの 原点と、パーパス経営の真髄  株式会社クラダシ 代表取締役会長 関藤 竜也
<b>7/9 木</b> <b>不動産・建築セクターに</b> <b>におけるサステナビリティ</b> <b>の進展</b> ー環境不動産からESG投資、そして 社会的インパクト不動産へ  CSRデザイン 環境投資顧問株式会社 代表取締役社長 堀江 隆一	<b>建築の炭素指標</b> ーCarbon metric of a building  東京都市大学 学長 野城 智也
<b>7/16 木</b> <b>企業価値を創り出す</b> <b>ネイチャーポジティブを</b> <b>目指す</b> ー脱炭素・循環経済との相乗効果を 生み出す、ネイチャーポジティブへ のシフト  キンエンジニアリング株式会社 代表取締役 東京都市大学 教育開発機構 特任教授 岸 和幸	<b>総括</b> ー学びの統合と成果の共有  東京都市大学 教育開発機構 特任教授 杉浦 正吾

交流会  
16:20  
~  
17:30